

特別史跡多賀城跡附寺跡構造復元展示棟

～ 古代建築の柱や梁などの骨組を復元 ～

【宮城県土木部営繕課】

「多賀城創建1300年記念事業」の一環で整備しました



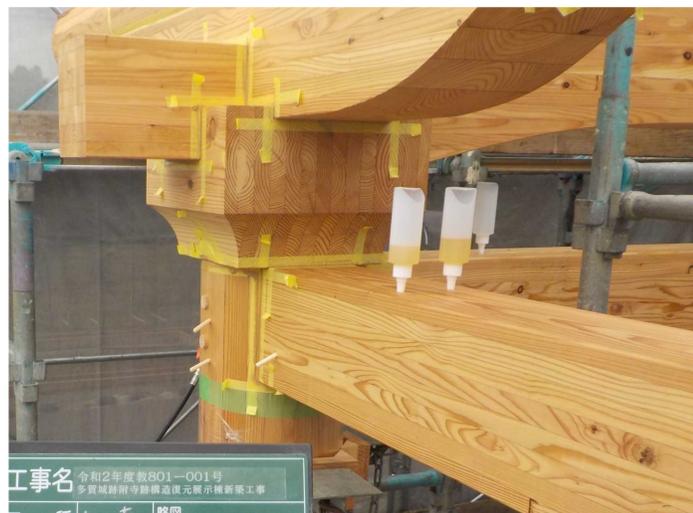
- 政庁南大路や城前官衙^{じょうまえかんが}の建物などを再現する政庁南面地区の整備事業のうち、城前官衙の古代建築の構造部分を模した建物を整備したものです。
- 古代建築の構造を復元する特殊な事業のため、多賀城跡調査研究所の復元考察に基づき、同研究所と緊密に連携しながら整備しました。
- 接合金物が外部に露出しないGIR（グールドインロッド）工法を採用しています。



〔内観〕



〔雨落とし〕



〔GIR工法施工状況〕

構造：木造 平屋
 延べ面積：169㎡
 完成年度：令和3年度

※城前官衙：政庁の南側、政庁南大路の東側の丘陵上の官庁跡。